

第4分科会「公共民間職場における第6次組強を考える」

座 長	川岸	
幹 事	坂本（記録等）	
助言者等	槌田オルグ（司会）	
分科会のねらい	<p>公共民間職場では、毎年新規加盟の労働組合が結成される一方で、新規採用者等の組織化の低下や組合執行部の役員が早期で交代することで運動の継承が難しいなどの要因から脱退や解散の報告もある。また、2020年3月以降のコロナ禍によって、対面での組合活動が大きく制限され、団結・連帯の意義が共有されにくくなったことも考えられる。このため、2023年8月の第97回自治労定期大会（函館大会）において決定した「第6次組織強化・拡大のための推進計画」に基づき、公共民間評議会としても具体的な取り組みを実行・実践しなければならない。</p> <p>今回は、第6次組強計画を進めるために設定された重点課題、①「受信力・交渉力・発信力の強化」、②「新採等の同一職場で働く仲間の組織化による組織率の向上」、③「各級組織役職員の育成と次世代を担う新たな人材の発掘」について、必要なことは何かを考え、組合運動が持続的に実行・実践されるように、この機会に改めて公共民間単組の組織強化に向けた課題・対応策について意見交換を行う。</p>	
進 行		<p>9:00 座長あいさつ</p> <p>9:10 「第6次組織強化・拡大のための推進計画」の実行・実践にむけて 槌田オルグ</p> <p>9:30 意見交換① 題目：受信力・交渉力・発信力の強化について</p> <p>10:10 休 憩</p> <p>10:25 意見交換② 題目：新採等の同一職場で働く仲間の組織化による組織率の向上について</p> <p>11:05 意見交換③ 題目：各級組織役職員の育成と次代を担う新たな人材の発掘について</p> <p>11:45 まとめ（座長）</p> <p>12:00 終了</p>

20240112 2024公民評春闘集会第4分科会参加者名簿

	県本部	単組名	参加者名	
1	06秋田県本部	横手興生病院労組	金子 文一	第4 (対面)
2	07山形県本部	県本部	叶内秀典	第4 (対面)
3	09新潟県本部	県本部	川崎 晃	第4 (対面)
4	09新潟県本部	新潟県本部	川崎 晃	第4 (対面)
5	11栃木県本部	鹿沼市関連労	駒場政貴	第4 (対面)
6	11栃木県本部	県本部	澤田郁夫	第4 (対面)
7	14東京都本部	東京交通協力会労組	上村 武道	第4 (対面)
8	14東京都本部	都本部	松本 優子	第4 (対面)
9	14東京都本部	都本部	水本 俊生	第4 (対面)
10	14東京都本部	三鷹社協労	高橋 久実子	第4 (対面)
11	16神奈川県本部	県本部	金 秀一	第4 (対面)
12	17山梨県本部	県本部	名取 哲也	第4 (対面)
13	22静岡県本部	静岡県本部	山田 克彦	第4 (対面)
14	22静岡県本部	静岡県本部	石井 城太郎	第4 (対面)
15	23愛知県本部	県本部	入江義寛	第4 (対面)
16	23愛知県本部	豊田市学校給食労	今中健夫	第4 (対面)
17	26滋賀県本部	県本部	前田顕孝	第4 (対面)
18	28奈良県本部	県本部	堀ゆかり	第4 (対面)
19	29和歌山県本部	わかやま産業振興財団職員労働組合	谷口 孫啓	第4 (対面)
20	33岡山県本部	県本部	田原 寛之	第4 (対面)
21	34広島県本部	放影研労組	柳川 貴紀	第4 (対面)
22	36島根県本部	島根県本部	瓜坂 秀史	第4 (対面)
23	41高知県本部	県本部	山中道紀	第4 (対面)
24	42福岡県本部	県本部 (県本部公共民間協事務局次長)	佐久間好正	第4 (対面)
25	44長崎県本部	県本部	井村 義則	第4 (対面)
26	48鹿児島県本部	県本部	中尾 明	第4 (対面)
27	幹事・役職員		川岸 太郎	第4 (対面)
28	幹事・役職員		坂本 仁	第4 (対面)
29	幹事・役職員		槌田順	第4 (対面)
1	05宮城県本部	直属支部	菊谷 英樹	第4 (ウェブ)
2	08福島県本部	会津若松観光ビューロ	鈴木 俊一	第4 (ウェブ)
3	09新潟県本部	国保労組	西澤 祐太	第4 (ウェブ)
4	10群馬県本部	高崎財団労	後閑 敏	第4 (ウェブ)
5	14東京都本部	みなとユニオン	萩原 正明	第4 (ウェブ)
6	21福井県本部	県本部	中川 弘策	第4 (ウェブ)
7	30大阪府本部	自治労大阪公共サービスユニオン	末利 進	第4 (ウェブ)
8	49沖縄県本部	県本部	大城智也	第4 (ウェブ)

第4分科会「公共民間職場における第6次組強を考える」

自治労本部総合組織局 組織拡大オルグ 榎田順

昨年8月第97回定期大会(函館)にて「第6次組織強化・拡大のための推進計画」(6次組強)を承認。「6次組強」では、「単組機能の再生にむけた『単組活動の(再)活性化』」を課題の中心とし、「単組の強化・底上げと組織率の向上」に力点を置くとされています。

公共サービス民間労組評議会第33回総会(2023年8月)においても「第6次組強」に基づいた運動の展開に取り組む」として、

- ・執行委員会の定期開催
- ・組合活動の周知
- ・職場過半数の維持
- ・交渉サイクルの確立

などを掲げられています。

具体的には？

県本部の取り組みとして、

- ・「単組事情に寄り添う」
- ・「集会・会議の見直し、担い手発掘・育成」
- ・「情報発信力の強化」
- ・「財政確立、自主福祉運動の推進」

単組の取り組みとして、

- ・「組合員の声聞く」
- ・「組合員の声から具体的要求・交渉につなげる」
- ・「組合活動の見える化」
- ・「役員任期複数年・次代の発掘」



県本部の取り組み ポイントの一つ 「単組事情に寄り添う」

- ・「単組に寄り添う」 → 単組からは「県本部を呼ぶ」と読み替えてみよう。
- ・「今月何回連絡した？連絡された？」
- ・県本部は「オルグ」をしない。御用聞きに徹する。県本部の言い分は後回し、まずは単組から聞きたいことを聞き、単組は言いたいことを言う。
- ・県本部と、組合活動のささいな「メンドクサイ」、「こんなこと今さら聞いて良いの？」「今さら言っているの？」を言葉で共有すること。
- ・手始めに「統一要求書」を、組合未経験者にでもわかる優しい言葉で解説をしてもらう(県本部は春闘・秋闘オルグで、方針の棒読みをしてないか？)。

単組の取り組み ポイントの一つ 「組合員の声を知る」

- 人が集まる・加わるのは「楽しい、面白い、ためになる、役に立つ、得になる」から。
- 組合員の「楽しい、面白い、ためになる、役に立つ、得になる」を集める。
- 組合役員が職場回りをする動機づけ・モチベーションは何か？

組合役員「楽しい、面白い、ためになる、役に立つ、得になる」は何か？

- 福利厚生・レクリエーション・研修には手をぬかない。ボーリング、潮干狩り、バス旅行、BBQ以外にレクはないのか？
- 労使交渉以上に大切な福利厚生活動、企画を必死で考えよう。
- 共済・ろうきんに詳しくなり使い倒そう。共済・ろうきん利用者の話を聞こう。
- 共済見積もり運動、成約よりもまずは見積もり人数を競う。

単組の取り組み ポイントの一つ

「組合員の声から具体的要求・交渉につなげる」

- ・ 統一要求よりも職場要求こそが中心であるべき。
- ・ 職場要求は「組合員の声聞く」ことなしにはあり得ない。
- ・ たとえば電球交換・イス交換・電子レンジ補充・エアコン修理など

- ・ 交渉サイクル確立の前に、まずスタートを切ろう。要求書提出100%を目指そう。
- ・ 要求書提出に県本部が立ち会う。いや、県本部が、評議会役員が要求書提出するから単組は立ち会え！

- ・ 集まるのが難しいなら、みんな自宅からスマホ限定WEB会議

県本部公民評/関連評の学習会でやってみたら？

・「細かすぎて伝わらない職場要求選手権」

職場独特、固有の要求を掘り起こすことが目的

・「統一要求書かみ砕きコンテスト」


組合員に分かりやすく発信できているか？

・「相談何件あった？単組ランキング」

組合は必要とされているか？の目安

自治労の正念場

- ・「本部は県本部へ 県本部は単組へ 単組は職場へ」
- ・本部オルグは、県本部担当役職員、公民評/関連評幹事とともに、結果が数値で示せる具体案を考え、(必要によっては)単組に入る(入りたい)。
- ・今回は自治労の正念場、言いつぱなしではなく、数値で示せる結果が求められている。
- ・組合員数、組織率以外にどんな数値が考えられるか？

- ・  「80万人回復」の壁は高くてよじ登るのは大変。階段を作って小さな一歩から踏み出そう。

